

お世話になっている観光バス会社のH社長から連絡がありました。「明日うちに来て欲しい、話があるから」とか言うのです。いつものHさんらしくないので、これは何かあったんだろうな?と思いながら、会社の事務所に入って行ったら嫌いなオッサンが居た。このオッサンはHさんの会社に仕事をくれる旅行会社の営業部長で、超上から目線のもの言いと超偉ぶった態度で色々と言ってくるので嫌いなんですよね。

私を御指名

話を聞くと、以前、北上市の旧日本陸軍後藤野飛行場を訪れた元特攻隊員さん達の話が出て、あの時に仲良しになったSさんの親族から今度は総勢30名くらいで岩手県内観光をしたいとかで相談があったとの事。その際に「以前、岩手に行った時の運転手さん(私)で御願いしたい」と言われ、「そういう運転手の指名などは出来ませんし、先方の運行スケジュールの都合もあるので御要望に添えるかどうか分かりません」というような遣り取りがあって結果的には「他の旅行会社に相談してみます」となったのだとか。他にも数件、前回の運転手さん(私)でと指名があるらしいんですよ。私としましては嬉しいんですけど、世の中はそう単純じゃないですからね。

怠け者のひがみ

私は余程の事情でなければ断腸の思いで断る事にしています。理由は他の運転手の大先輩方にイジメられるから(笑)。彼らにしてみれば、バイトの運転手が指名されるとか「生意気な!」と思っているのでしょうか、だったら自分達も漫然と運転するのではなく、お客さんの身になって、どうすれば楽しく観光して頂けるか等々、考えて運転すればいいんですよ。これはゴマ摺り、阿るとかじゃなくて思い遣りの気持ちというか、初めて来て何も分からないお客さんでも楽しめるように、ツアールートに無い場所にも時間があれば案内するとか。

縁の下の力持ち

営業部長は「何でお前が指名されるんだ?もしかして、『次回来る事があったら指名してくれ』とか言ってんのか?」と言うんです。「そんな事は1度も無い」と言っても「じゃあ何でだよ?」としつこい。「お客さんに直接聞いて下さいよ」と言ったら激昂して「運転手風情が生意気な!」と喚き散らす始末。そこまで言われては私も我慢なりません。「運転手がお客さんに指名される事は悪い事なんですか?1回ポッキリじゃなくリピーターとなってくれた方が良いのでは?お客さんの判断材料は営業さんの対応だけなのではないでしょうか?貴方からみたら運転手風情なんて末端の奴隷みたいなものではないでしょうか、我々は縁の下の力持ちだと思っています。見下すのではなく、一言「ご苦労さん」と言ってくれれば粉骨砕身頑張ると思いますよ」と言ってやりましたが、彼は無言でした。

ご縁を大切に

営業部長と別れた後、H社長から電話が来て「今日は本当にゴメン。でもよく言ってくれた」とか言っていました。H社長も我慢に我慢を重ねていたみたいですね。それにしても、元特攻隊員だったSさん達が私を指名してくれようとした事が凄く嬉しかったし、再会できたらもっと当時の色々なお話を聞きたかったです(笑)。

(岩手県大槌町 小川 孝幸)